

## RPAによる受領証回収チェック業務の効率化を実施

当社では、2020年10月より、RPA（※1）を活用した配送先からの受領証回収チェック業務の効率化を開始しました。

配送先から戻ってくる受領証は、商流上の重要証憑であり、全て不備なく回収できているかチェックする必要があります。

従来は、受領証と出荷の一覧情報をシステムから印刷した“紙ベースの帳票”を照合していく作業を「人手・人の目」で実施していました。全国で年間数百万枚の受領証確認が必要であり、現場では大きな負荷になっていました。

今回、受領証を複合機のスキャナーで画像読込したうえで AI-OCR（※2）ソフトを介することで、その内容をデータ化し、RPA の処理により基幹システムに保持されている出荷情報とコンピューター上での照合判定を行う仕組みを構築しました。

受領証の画像スキャンは人手で行いますが、その後は自動的に進んでいきます。毎営業日の午前1時にRPAが起動し、勤務開始までに処理が終わっています。

OCRの読み取り精度が低いと、確認作業が増えて作業工数増になってしまうケースが考えられます。当初、読み取り精度“95%”を目標にスタートしましたが、相応の時間をかけて設定を調整した結果、最終的には“99%”まで読み取り精度を高めることができました。

本件に関係する案件担当・RPA開発担当・当社作業担当の深い相互理解を

進めるため、リモート環境のなか 2020 年 5 月から打合せを重ね、自動化された新フローを構築できました。

当社は今後も最新のテクノロジーの活用により、業務の効率化、高度化を目指します。

※ 1 ロボティック・プロセス・オートメーション 自動化技術の一種

※ 2 オプティカル・キャラクター・レコグニション 光学文字認識

